

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月17日		記入者		連絡先 2626
部 名	保健福祉部	課 名	高齢者福祉課	課長名	市川正美
事務事業名	敬老会開催事業				
予算上の事務事業名	敬老会開催費				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	11220	
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造				事業開始年度
施策名	第2施策 高齢者の社会参加と生きがいづくり				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市敬老会実施要領					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	第2期相模原市高齢者保健福祉計画		高齢者がいつまでも住み慣れた地域で、生きがいを持ち、安心して生活を継続できる高齢社会の形成		
計画年次	15	年度～	19	年度	
4 事業形態の区分 研修・講座 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)		
77歳と80歳以上の高齢者を送迎バスで招待し、長寿を祝うとともに、歌謡ショーを開催し日頃の労をねぎらう。			9月15日現在で77歳の市民及び80歳以上の市民 (H18対象者予想数約2万3千人)		
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
1 開催日	平成17年9月16日(金)から18日(日)までの3日間(午前・午後の区分で6回開催)				
2 会場	市民会館				
3 内容	式典及び牧村三枝子歌謡ショー他				
4 参加者	4,479人				
6 関連・類似事業や他市の状況					
本市と同様に実施しているのが、厚木市、茅ヶ崎市等6市。(対象者は、75歳以上や80歳以上等) 実施していないのが、横浜市、川崎市、横須賀市等9市。 地域単位で実施しているのが、藤沢市、海老名市等3市。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	14,758	14,618	16,904	17,229	17,229
一般財源	14,758	14,618	16,904	17,229	17,229
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	13,047	11,443	11,473	11,473	11,473
事業コスト合計	27,805	26,061	28,377	28,702	28,702
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	敬老会運営費			対象名称と単位	参加者一人当たりの運営費(千円)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	14,758	14,618	16,904	17,229	17,229
対象数	4,116	4,141	4,479	4,500	4,600
単位あたり経費(円)	3,586	3,530	3,774	3,829	3,745
前年度比		0.98	1.07	1.01	0.98

9 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの					
指標名と単位	出席率 (%)	指標式と指標の説明	参加者数/参加希望者数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	81.9	82.1	82.2		
目標	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
目標達成度 (%)	96.4	96.6	96.7		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	出席希望率 (%)	指標式と指標の説明	参加希望者数/参加対象者数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	23.9	27.6	28.0		
目標	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
目標達成度 (%)	79.7	92.0	93.3		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		対象者にとっては身近なものであり、長寿のねぎらいと共にこれからの更なる長寿への励みにしていただくにも有効であるが、対象者や市の負担費、開催方法の見直しが必要である。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
対象者の増加が見込まれることから、送迎バスの効率的な運用と式典内容の見直し等により、参加希望者の増加を図る。			財政状況が厳しくなる中、高齢者の急増により、開催日数が増大し敬老会開催は難しくなる。今後は高齢社会に向けて、一堂に会しての開催から地域福祉の充実への転換等、時代に即した事業に転換を図っていくことを検討する必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		敬老会のあり方や開催方法について見直しを進める。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			